

Society5.0社会をリードし、AI・ビッグデータ・IoT・ICTが使える人材
社会人が、学生や教員と共に学びあう

情報技術教育

令和5年度 社会人受講生 実施要項



- AIとビッグデータ（全6科目）
- IoTとロボティクス（全6科目）
- ICTと情報セキュリティ（全2科目）

→令和5年8~9月（夏期集中講義）
・令和6年2~3月（春期集中講義）

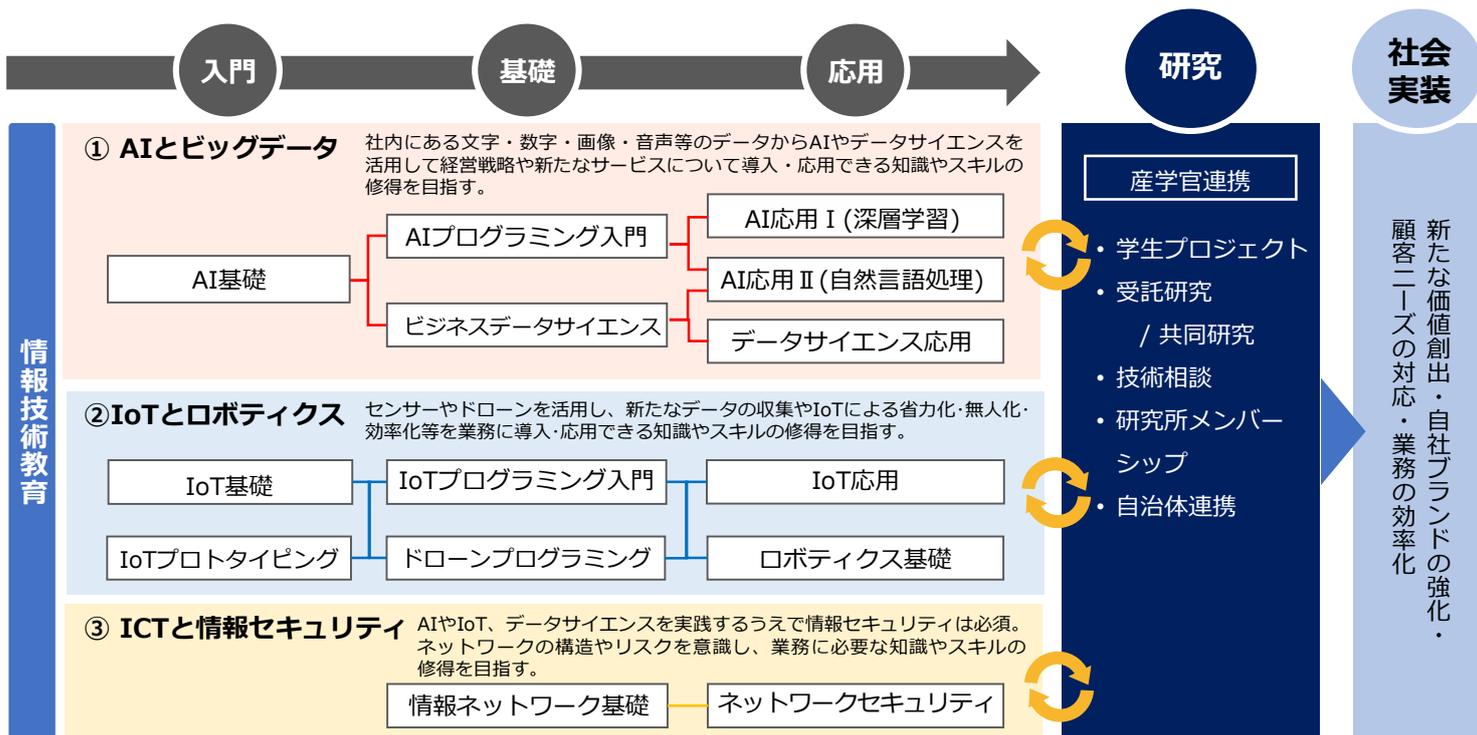
一部、開講日時・定員に変更があります

現在、急速に実現されつつあるSociety 5.0では、あらゆる「モノ」や「コト」がデジタルで表現され、AIやIoTを中心とする新しい情報技術が広く活用されると考えられています。このような社会では、製造業や金融業、サービス業や農業等といった全ての業界において新たな情報技術が導入され、結果として業務形態が大きく変わることとなり、新たな情報技術を身に付けている人材が、新しい価値を創出できる人材として活躍することになります。金沢工業大学は、社会人が学生や教員と共に学び合いながらAIやIoTといった先進情報技術を身に付けることができる教育プログラムを提供します。

情報技術教育

金沢工業大学の情報技術教育は、製造業・サービス業・金融業・農業等の全ての業界において、AI・IoT・ICTが使いこなせる人材、これらを活用した新しい価値を創出できる人材育成を実践します！

入門から応用、そして社会実装までをサポートする教育体系



学習後の社会実装に向けた教育・研究例

社会人と学生・教員の共創による教育・研究では、AI・IoT・ICTの情報技術や知識を使って、企業の独自性と技術の特長を活かした製品とサービスの創出を産学官連携でおこないます。研究内容は要素技術開発から社会実証まで幅広く対応し、研究所を活用した高度な研究・調査や学生主体の教育研究プロジェクトと連携した新規アイデア創出・実験・実装など多様な取り組みが可能です。

● AI・IoT・ICT・ビッグデータを活用した研究の事例

AIおよびARを活用した設備等保守を支援するAndroidアプリに関する研究開発

株式会社別川製作所と産学連携で、「AIおよびARを活用した設備等保守を支援するためのAndroidアプリ」の開発を進めています。工場・施設等の設備等保守点検においては、明らかな異常を検知できても、正常から異常への過渡期の判断が難しい場合が多く存在します。

そこで、設備等の稼働状態をAIにより分析し、AR等を駆使して最適な設備保守点検が行えるよう支援するAndroidアプリを開発し、工場等の実際の現場での実証実験を踏まえながら、実用化を目指しています。



5Gスマート工場にて、遠隔MR会議やバーチャル工場見学の機能を搭載し、“人”中心のDXを実現

北菱電機株式会社、株式会社NTTドコモとの産学連携にて、5Gを活用したスマート工場「Smart Smile Factory」の取り組みを進めています。生産機械効率化のための「Smart」と、従業員のモチベーション向上等のための「Smile」の各種機能を搭載します。

遠隔の社員同士が顔を見ながら話すことで、社員間のコミュニケーションを活性化させる「遠隔MR会議」、発注元企業の自社オフィス等からSSF内を視察できるようにするための「バーチャル工場見学」の実装を行いました。今後も引き続き、“人”中心のDX実現を目指します。



● 学生・教員との共創による教育研究活動

金沢工業大学の学生・教員は、世代・分野・文化が異なる人たちと共に学び、共に研究に取り組むことで、イノベーション創出とその実践的な研究力を身につけています。社会や企業の課題に挑戦し、地域の課題解決を目指した特色ある授業や課外プログラムを取り入れ、企業や自治体、社会人等と共に専門知識を活用して課題解決に取り組みます。社会実装に向けたアイデアの創出を産学官連携で行います。

【例】プロジェクトデザインⅡ（2単位）、オーナーズプログラム（夢考房プロジェクト、学科プロジェクト）



1. 科目概要

- 科目を受講するうえで必要なスキル等は、下記の表をご参照ください。
- 全科目に共通して、「Word、Excel、PowerPointで課題を作成できる」「作成した課題の電子ファイルをメールに添付して提出できる」必要があります。
- 対面授業の場合は大学からパソコンを貸与いたします。遠隔授業の場合はご自身のパソコンを使用していただくことになります。

コース	SEQ	レベル	科目名	授業形態	学習内容	受講に必要なスキル	
							使用するソフトウェア・教科書等
I. AIとビッグデータ	1	入門	AI基礎	対面	AIの基本的機能や機械学習（深層学習）の働きの初等的理論やデータ操作の倫理、工学への応用例を学ぶ。		指示されたソフトウェアをインストールできること。 電子メールで教員に質問ができること。 【大学からパソコン貸与】
	2	基礎	AIプログラミング入門	対面	Pythonによる基本的なプログラムを作成する。変数、関数、制御文、繰り返し文、リスト、コンテナの処理、イテレータ、モジュールの利用などについて学ぶ。		キーボード、マウス、ウインドウ 操作が十分できること。 【大学からパソコン貸与】 *ソフト追加可能なパソコンを持参することを推奨します。
	3	応用	AI応用 I（深層学習）	遠隔	深層学習の基礎、畳み込みニューラルネットワーク、リカレントニューラルネットワークの仕組みと活用法について学び、それらの手法やモデルに基づく応用システムを構築する。		AIの基礎知識を有し、プログラミング経験者であることが望ましい。Pythonについては、関連書籍/情報/プログラムを参照しつつ、プログラムの処理概要を理解、説明できればよい。 ・ Google Chrome(+ Google アカウント) ・ 教科書「Pythonによるディープラーニング」[マイナビ出版]
	4	応用	AI応用 II（自然言語処理）	遠隔	AIの最も中心となる自然言語処理の基礎的な技術を学習する。文解析、情報検索、文書分類、対話システムなどの応用システムに関する理解を深める。		AIに興味があること。 特になし
	5	基礎	ビジネスデータサイエンス	対面 or 遠隔	データを活用するための手法としてのデータ分析を学習する。推測統計の点推定と区間推定および仮説検定の概要や回帰分析を主として、多変量解析の理論と実践を学ぶ。		Microsoft Excelを使うことができる程度のパソコンスキルがあること。 ◆全日程「対面」受講の場合【大学からパソコン貸与】 ◆「遠隔」受講の場合 受講前に、各自のパソコンに以下のツール等をインストール/ログインの新規登録しておくこと。(第1回目の講義冒頭にも説明します。) ・ Microsoft Excel ・ KHCoder ・ KNIME ・ jSTAT MAP (ウェブGIS)
	6	応用	データサイエンス応用	遠隔	機械学習のさまざまなアルゴリズムを用いたデータ分析手法を学習する。教師あり学習および教師なし学習およびscikit-learnを用いたデータ解析について学ぶ。		Pythonを使う課題があるため、Pythonの基礎（リストの操作、制御構文、関数の定義等）と初歩的なオブジェクト指向（オブジェクトを作成して、そのメソッドを呼び出す等）を理解していること。 ・ Anaconda Distribution* ・ 教科書「Pythonではじめる機械学習」[オライリー] *参考：セットアップ方法は講義中に説明します。 https://www.anaconda.com/products/distribution
II. IoTとロボティクス	7	入門	IoT基礎	対面	IoTシステムを構成する基本技術や通信方式、情報セキュリティ対策技術について体系的に学習する。		基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Officeの操作、タイピングなど）を修得していること。 【大学からパソコン貸与】
	8	入門	IoTプロトタイピング【令和5年度新設】	対面	IoTシステムを構築するためのマイコンを用いたプロトタイピング手法を学ぶ。プロトタイピングの考え方やネットワークやマイコンを用いたセンサ・アクチュエータの利用方法を学習する。		基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Officeの操作、タイピングなど）を修得していること。 【大学からパソコン貸与】
	9	基礎	IoTプログラミング入門	対面	C言語とマイコンの基本的な機能を学習。I/Oポート、A/D変換、PWM、割込み(タイマ)、UART通信を利用したArduinoマイコンのプログラムを学習する。		基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Officeの操作、テキストエディタの操作など）を修得していること。 【大学からパソコン貸与】
	10	基礎	ドローンプログラミング【令和5年度新設】	対面	Pythonを使用して、小型ドローン(DJI-Tello)をプログラミング制御する方法を学ぶ。TelloとUPD通信して機体制御および機体情報を取得するマルチスレッドプログラムを作成し、ドローン制御の理解を深める。		(1) Pythonの基礎(①変数とリスト、②条件分岐、③繰り返し、④関数定義と呼び出し、⑤モジュールの使用)を理解していること。 (2) Visual Studio Codeなどのプログラミング用テキストエディタの使用経験があること。 (3) Linuxデスクトップ環境の使用経験を有することが望ましい。 【大学からパソコン貸与】
	11	応用	ロボティクス基礎	対面	基本的なロボットの制御手法について実践的に学ぶ。ロボット制御プログラミングの様々なセンサの値からロボットを操作する方法や、PID制御などの制御理論を学ぶ。		(1) 基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Office の操作、テキストエディタの操作など）を修得していること。 (2) C プログラミングの基本的な要素（条件分岐、繰り返し、関数、ファイル入出力など）を理解している。「IoT プログラミング入門」を履修しているか、履修相当であること。 【大学からパソコン貸与】
	12	応用	IoT応用	対面	ハードウェアとセンサーを使った基礎的なIoTシステム構築の手法を実践的に学ぶ。ラズベリーパイと各種センサーを用いてクラウドへ収集・蓄積する手法等を学習する。C言語またはPython言語でプログラミングを行う。		(1) 基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Office の操作、テキストエディタの操作など）を修得していること。 (2) CプログラミングまたはPythonプログラミングの基本的な要素（条件分岐、繰り返し、関数など）を理解している。「IoTプログラミング入門」または「AIプログラミング入門」を履修しているか、履修相当であること。 【大学からパソコン貸与】
III. ICTと情報セキュリティ	13	基礎	情報ネットワーク基礎	対面	TCP/IPやそれに関連する知識と技術を学ぶ。ネットワークの各階層の役割と利用されるプロトコルの内容を学び、多様なコマンドを用いてネットワークの状況を把握する手法についても学ぶ。		コンピュータに関する基礎的な知識や能力（2進数の計算、プログラミングなど）を身につけていること。 【大学からパソコン貸与】
	14	応用	ネットワークセキュリティ	対面	ネットワークのセキュリティに関する知識と技術について学ぶ。DoS攻撃やSQLインジェクションのようなネットワークの攻撃手法と対策技術を実践的に学ぶ。		TCP/IPの基本を理解していること。 【大学からパソコン貸与】

2. 開講スケジュール

・各科目の詳細な授業内容については、ウェブサイトにある学習支援計画書（シラバス）をご参照ください。

・1回の授業は100分です。授業時間は以下の通りです。**一部、開講日時・定員に変更【赤字】があります。**

[対面授業、遠隔授業（リアルタイム配信型）]

1時限 8:40～10:20 2時限 10:35～12:15 3時限 13:15～14:55 4時限 15:10～16:50 5時限 17:05～18:45

[遠隔授業（オンデマンド型）]

指定期間に授業内容の動画コンテンツ配信が行われます（配信URLは履修許可後に通知します）。

・授業は1回目から受講できるよう業務等のご調整をお願いします。特に1回目は授業運営上、各種設定や重要なお知らせもありますので、出席をお願いします。

・季節性感染症や大学の都合等により、スケジュール等が変更になる場合があります。

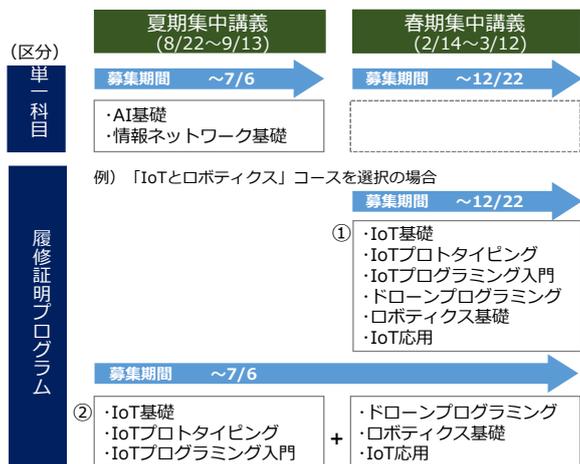
コース	SEQ	レベル	科目名	各期定員	単位	授業回数	令和5年度 春期集中講義 (2/14～3/12)		春期の募集	
				社会人			授業形態	履修区分	単一科目	履修証明プログラム
I. AIとビッグデータ	1	入門	AI基礎	—	—	—	—	—	—	—
	2	基礎	AIプログラミング入門	15	1	100分×7回	対面授業	2/19(月) 2・3・4時限 2/20(火) 2・3・4時限 2/21(水) 2時限	可	—
	3	応用	AI応用 I（深層学習）	15	1	100分×7回	遠隔授業 (リアルタイム配信型)	2/26(月) 3・4時限 2/27(火) 3・4時限 2/28(水) 3・4時限 3/ 1 (金) 3時限	可	—
	4	応用	AI応用 II（自然言語処理）	15	1	100分×7回	遠隔授業 (リアルタイム配信型)	3/ 4 (月) 1・2・3・4時限 3/ 5 (火) 1・2・3時限	可	—
	5	基礎	ビジネスデータサイエンス	15	1	100分×7回	ハイフレックス*1 (対面/ リアルタイム配信型)	2/14(水) 1・2時限 2/15(木) 1・2時限 2/16(金) 1・2・3時限	可	—
	6	応用	データサイエンス応用	15	1	100分×7回	遠隔授業 (オンデマンド型)	2/29(木)～3/8(金)の 間に、受講者の都合に 合わせて7時限分を受講*2	可	—
II. IoTとロボティクス	7	入門	IoT基礎	15	1	100分×7回	対面授業	2/14(水) 1・2・3・4時限 2/15(木) 1・2・3時限	可	—
	8	入門	IoTプロトタイピング 【令和5年度新設】	15	1	100分×7回	対面授業	2/16(金) 1・2・3時限 2/19(月) 1・2時限 2/20(火) 1・2時限	可	—
	9	基礎	IoTプログラミング入門	15	1	100分×7回	対面授業	2/21(水) 2・3・4時限 2/22(木) 3・4時限 2/26(月) 3・4時限	可	—
	10	基礎	ドローンプログラミング 【令和5年度新設】	5 6	1	100分×7回	対面授業	2/27(火) 2・3・4時限 2/28(水) 3・4時限 2/29(木) 3・4時限	可	可
	11	応用	ロボティクス基礎	15	1	100分×7回	対面授業	3/ 6 (水) 2・3・4時限 3/ 7 (木) 2・3・4時限 3/ 8 (金) 4時限 3/11(月) 1・2・3・4時限 3/12(火) 2・3・4時限	可	—
	12	応用	IoT応用	15	1	100分×7回	対面授業	3/ 1 (金) 3・4時限 3/ 4 (月) 1・2・3・4時限 3/ 5 (火) 4時限	可	—
III. ICTと情報セキュリティ	13	基礎	情報ネットワーク基礎	15	1	100分×7回	対面授業	2/20(火) 3・4時限 2/21(水) 3・4時限 2/22(木) 2・3・4時限	可	—
	14	応用	ネットワークセキュリティ	15	1	100分×7回	対面授業	2/27(火) 3・4時限 2/28(水) 3・4時限 2/29(木) 2・3・4時限	可	—

*1. 5「ビジネスデータサイエンス」はハイフレックス（対面/リアルタイム配信型の併用）で授業を運営します。履修許可後に日程毎の受講形態を確認します。
[例] 2/14(水)対面、2/15(木)リアルタイム配信型、2/16(金)リアルタイム配信型

*2. 6「データサイエンス応用」の動画コンテンツは、2月29日(木)から3月8日(金)まで、それぞれ1日1時限分ずつ配信します。3月8日(金)までに受講者の都合に応じて視聴してください。質疑応答の方法については、履修許可後に担当教員より連絡があります。

3. 科目の選択方法（単一科目区分と履修証明プログラム区分）

履修区分「単一科目」または「履修証明プログラム」のいずれかを選択してから科目を選択してください。



- 「単一科目」区分の場合
 - ・コース関係なく希望する科目（1人あたり2科目まで）の履修申請が可能です。
 - ・1期間ごとに申請を受け付けます。2期間分は受け付けられません。
- 「履修証明プログラム」区分の場合（夏期・春期）
 - ・「履修証明プログラム」は、コース内の科目を全て(6単位)修得することで履修証明書を発行します。
 - ・1つのコース内の6科目の履修計画をまとめて申請してください。受講期間は①夏期または春期の1期間で学習するか、②夏期・春期あわせて2期間で学習する方法があります。
 - ・春期は「Ⅱ. IoTとロボティクス」コースのみ募集します。
 - ・1期間に複数のコースは申請できません。また、単一科目区分と履修証明プログラム区分の重複申請もできません。

4. 授業の実施形態について

授業の実施形態は、キャンパスの講義室で受講する「対面授業」とインターネットのオンライン会議ツールを活用した「遠隔授業*」があります。本学学生も社会人と共に授業を聴講します。

- ・科目によって実施形態が異なります。「対面授業」と「遠隔授業」のどちらで開講しているかも確認してご応募ください。「遠隔授業」は自宅や会社からの受講となります。履修許可後に、遠隔授業を実施するURLをお知らせいたします。

*遠隔授業における通信環境設備、通信費用については個人負担となります。

5. 受講前の準備（学内システムの利用環境、テキスト）

- ・本学の授業では、学内ネットワークにある授業支援システム「eシラバス」（教材・課題の提供、アンケートの回答など）を利用します。本学のウェブサーバに接続し、IDとパスワードを入力して利用ができます。IDとパスワードは履修許可後に通知します。
- ・所属先やご自宅から本学のウェブサーバに接続する場合は、リモートVPN（ForitiClient）をインストールする必要があります。
*所属先の企業等のネットワーク環境から接続する場合、セキュリティ対応によって本学のシステムに接続できない場合があります。詳しくは所属先のシステム管理者にお尋ねください。
- ・テキストは学習支援計画書（シラバス）および「1. 科目概要」に記載してあります。あらかじめ各自でご購入ください。

6. 「遠隔授業」の種類について

遠隔授業は「リアルタイム配信型」と「オンデマンド型」の2種類あります。

対面授業と遠隔授業（リアルタイム配信型）を選択できる「ハイフレックス」の科目もあります。

	リアルタイム配信型	オンデマンド型
受講方法	決められた授業時間に同時双方向型の授業を実施します。時間になりましたら、指定されるオンライン会議ツールのURLにアクセスして受講してください。	指定期間内に指示される動画を視聴し、授業を聴講します。途中でレポート提出や演習課題が指示されます。（質疑はオンライン会議ツールを利用します）
受講中の質問方法*	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議ツール内で直接マイクを使って話しかける。（聴講者全員と共有） ・オンライン会議ツールのチャット機能を使って、質問を入力する。（聴講者全員と共有） ・教員宛に個別にメールをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスアワー（授業時間外に教員が質疑応答の対応をする時間）にオンライン会議ツールを使って質問をする。 ・教員宛に個別にメールをする。

*詳細については、担当教員より指示があります。

7. 遠隔授業の受講前の準備について

以下のものを受講前に各自でご準備ください。

- ・インターネットに接続できるパソコン
- ・Webカメラ
- ・マイク
- ・イヤホン（必要に応じて）
- ・オンライン会議ツール「Zoom」のインストール
- ・授業に必要なソフトのインストール

●パソコン、Webカメラ、マイクについて

- ・授業ではWindows OSのパソコンを使用することを前提としているため、Windows以外のOSでは授業で使用する機器・ソフトウェアに対応できない場合があります。
- ・オンライン会議ツール「Zoom」に接続できる状態にしてください。
- ・受講中は、教員の指示に従い、Webカメラやマイクの操作を行ってください。
- ・受講中は、イヤホンを使うなど周囲にご配慮ください。

●オンライン会議ツール「Zoom」のインストールについて

以下のURLよりマニュアルをダウンロードし、インストールしてください。

http://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/pdf/2020zoom_recurrent.pdf
(情報技術教育プログラムサイト内よりダウンロード可)

●授業に必要なソフトウェアのインストールについて

- ・授業で必要なソフトウェアは、「1. 科目概要」に記載してあります。
- ・使用するソフトウェアのインストール方法等詳細については、履修許可後、授業開始前までに担当教員よりメールで通知します。

●令和5年度「情報技術教育プログラム」社会人用実施要項

※実施要項に関する最新情報は、ウェブサイトにてご確認ください。



対象プログラム	情報技術教育プログラム (全14科目/3コース)		
対象期間	夏期集中講義期間【終了】	春期集中講義期間	
	令和5年 8月22日～9月13日	令和6年 2月14日～3月12日	
各学期の募集定員	(A) 単一科目 各科目に定める定員 (詳細は「2. 開講スケジュール」の通り)		
	(B) 履修証明プログラム IoTとロボティクスコース 若干名		
受講資格	企業や自治体・団体等に所属し、出願時に以下のいずれかの資格を有する必要があります。 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 ②通常の課程による12年の教育課程を修了した者 (通常の課程以外の課程により、これに相当する者を含む) ③文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者		
履修制限	・1企業あたり1期間5名まで申請可能です。(※6名以上をご希望される場合はご相談ください) ・科目ごとに必要なスキルが指定されている場合は、その要件を条件とします。「1. 科目概要」をご参照ください。		
受付期間	夏期集中講義分【終了】	春期集中講義分	
	ウェブサイト事前申請	令和5年 6月15日(木)～令和5年 7月6日(木) 17:00まで	令和5年12月4(月)～令和5年12月22日(金) 17:00まで
	願書提出	令和5年 7月6日(木) まで ※PDFまたは郵送提出(消印有効)	令和5年12月22日(金) まで ※PDFまたは郵送提出(消印有効)
	検定料納入期限	令和5年 7月20日(木) まで	令和6年1月18日(木) まで
申請方法	(A) 「単一科目」で申請の場合 ①推薦者(所属長または上司)がウェブサイトより、推薦者情報、推薦理由、受講者情報を入力してください。 ②「単一科目」区分を選択し、コースおよび科目名(1人2科目まで)を選択し、事前申請をしてください。なお、事前申請時に定員に達し、受講ができない場合は、後日、事務局より通知します。 ③受講者は科目等履修生としての選考が必要なため、ウェブサイトから事前申請後、指定期日までに願書(ウェブサイトよりダウンロード ※顔写真必要)の提出ならびに検定料を納入してください。		
	(B) 「履修証明プログラム」で申請の場合 ①推薦者(所属長または上司)がウェブサイトより、推薦者情報、推薦理由、受講者情報を入力してください。 ②「履修証明プログラム」区分を選択し、コース名およびコース内のすべての対象科目の受講希望期間を選択し、事前申請を行ってください。なお、事前申請時に定員に達し、受講ができない場合は、後日、事務局より通知します。 ③受講者は科目等履修生としての選考が必要なため、ウェブサイトから事前申請後、指定期日までに願書(ウェブサイトよりダウンロード ※顔写真必要)の提出ならびに検定料を納入してください。		
事前申請ウェブサイト	https://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/ より事前申請をしてください。		
願書提出	願書のフォーマットは、ウェブサイトの「申込」よりダウンロードしてください。		
	[PDFの場合] ウェブサイトで指定するURLにアップロード [郵送の場合] 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 金沢工業大学 大学事務局 共創教育推進室 宛 ※封筒表面に「情報技術教育プログラム願書在中」と朱書きしてください。		
検定料(1名分)	10,000円 ※上記期日までに手続きを完了してください。お申し込み後に請求書を送付します。		
選考	事前申請(推薦者からの推薦理由)および願書をもって書類選考をおこないます。		
選考結果	令和6年1月30日(火)以降に郵送で通知します。		
受講料	履修許可後、指定期日までに受講料を納入してください。期日・振込先については、選考結果通知時にお知らせします。		
	(A)単一科目	1単位あたり24,000円(テキスト・教材費は各自負担)	
	(B)履修証明プログラム	1コースあたり144,000円(コース内の指定科目6単位分)	
単位認定/修了認定	・単位を修得した場合は、単位修得証明書を発行します。 ・履修証明プログラムは、履修許可された期間内に、コースの指定科目の6単位を修得することが修了要件となります。修了要件を満たした場合は「履修証明書」を発行します。		
注意事項	・各科目において、受講希望者が5名未満の場合は開講しない場合があります。 ・請求書は推薦者様へ送付します。推薦者が複数いる場合、まとめて企業宛に請求を希望される場合はご相談ください。 ・授業は1回目から受講できるよう業務等のご調整をお願いします。特に1回目は授業運営上、各種設定や重要なお知らせもありませんので、出席をお願いします。		

受講にあたっての注意事項(お願い)

- ・情報技術教育プログラムは、社会人が学生・教員と共に学びあいます。世代を超えた効果的な授業運営にご協力ください。
- ・1回の授業は100分です。高い目的意識を持って授業にご参画ください。
- ・遅刻、早退はしないでください。また、授業中は携帯電話・スマートフォンの電源はお切りください。
- ・授業に関する録音、撮影は原則禁止です(教員によるオンライン会議ツールの録画は除く)。また、提示資料および配布資料には著作権があります。許可無く対外的に配布しないようお願いします。
- ・授業中にアンケート調査を実施いたしますのでご協力ください。
- ・授業中に広報用および記録用に一部カメラ撮影等が入る場合があります。
- ・季節性感染症や大学の都合等により、授業運営、スケジュール等を変更する場合があります。